

署勢概要

令和2年



令和3年刊行

川崎市宮前消防署

目 次

宮前消防署のあゆみ	1
消防署の組織	9
消防署の事務分掌	10
消防職員の配置	12
消防署所の配置車両等の状況	12
消防署管内図等	13
消防署所の受持区域及び応援区域	14
防火対象物の状況	15
消防用設備等の設置状況	15
各種届出状況	15
防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況	16
建築同意事務処理状況	17
危険物許可施設状況	18
少量危険物施設状況	18
危険物保安監督者選任状況	18
月別火災状況	19
町（丁）名別火災件数等	20
令和2年中の主な火災	21
過去5年間の火災発生状況	21
過去5年間のガス事故発生状況	22
消防署所別管内消防隊災害出場状況	23
過去5年間の救急事故種別状況（出場件数）	24
宮前消防団の組織	25
宮前消防団管内図等	26
宮前区救急告示・救命救急センター医療機関	27
消防協力団体	27

宮前消防署のあゆみ

昭和15年12月	神奈川県川崎消防署を設置し、併せて高津出張所を開設した。	
昭和18年12月	神奈川県川崎消防署中原出張所の消防署昇格に伴い、中原消防署高津出張所と改称した。	
昭和22年10月	消防団令の公布に伴い、高津消防団を設置した。	
昭和23年 3月	消防組織法の施行に伴い、官設消防が市移管となり、川崎市消防本部を設置した。	
昭和34年 8月	川崎市の機構改革により、消防本部を消防局と改称した。	
昭和38年 8月	中原消防署高津出張所が高津消防署に昇格した。	
昭和40年 9月	高津消防署向丘出張所を開設した。	
昭和42年11月	高津消防署野川出張所を開設した。	
昭和45年 2月	高津消防署宮崎出張所を開設した。	
	向丘出張所に救急車を配置した。	
	宮崎出張所に救急車を配置した。	
	8月	高津消防署菅生出張所を開設した。
昭和47年 4月	政令指定都市になり、区政を施行した（5区）。	
昭和50年12月	救急隊の3部制を施行した。	
昭和55年 4月	高津消防署犬蔵出張所を開設した。	
昭和57年 7月	高津区から宮前区が分区された（7区）。	
昭和59年 7月	婦人消防隊委員会の発足により、第1期委員長に山田フサエが就任した。	
	10月	宮前消防署新築工事を着工した。
昭和60年 7月	宮前消防署を3課（庶務課、警防第1、2課）8係（庶務、機械、予防、保安、警備1・2、消防1・2）5出張所（向丘、野川、宮崎、犬蔵、菅生）で開設し、初代消防署長に田村義和が就任した。	
[宮前消防署開設]	人員135人、消防車両13台、救急車2台	
	向丘出張所の救急車を宮前消防署へ配置替えした。	
	宮前消防団を設置し、初代消防団長に田邊清が就任した。	
	団員111人、消防車両6台（本団・宮前・向丘・野川分団）	
	宮前消防研究会を発足し、初代会長に伊藤豊が就任した（会員53人）。	
	8月	宮前防火協会を発足し、初代会長に井田順登が就任した（会員85人）。
	12月	野川分団南野川班の小型動力ポンプが更新された。
昭和61年 1月	本署に西独製30m級はしご車が配置された。	
	6月	第2期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に山田フサエが引き続き就任した。
	10月	川崎富士見ライオンズクラブから予防広報車の寄贈を受けた。
昭和62年 2月	川崎宮前ロータリークラブから移動式投光器の寄贈を受けた。	
	4月	宮崎救急隊を野川出張所に配置替えし、野川救急隊とした。
		宮崎出張所の増改築工事完成、火災時等部隊出場時残留員廃止となり、訓令定員133人（2人減）とした。
		初代防火協会長の退任により、第2代会長に小島隆が就任した。
	12月	救助工作車を配置し、消防車両等14台、訓令定員143人とした。

昭和63年	3月	自治体消防40周年記念に伴い、職員の意見発表会、特別消防協力者等（消防協力団体3団体、防火管理等協力者3人、婦人消防隊協力者2人）の表彰式を実施した。
		宮前消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与された。
	4月	初代消防署長の退職に伴い、第2代消防署長に川邊直行が就任した。
	6月	第3期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に小森赫子が就任した。
	11月	宮前区小台1丁目、安藤直氏から宮前救急車の寄贈を受けた。
	12月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）、野川出張所の救急自動車（2B型）が更新配置された。
平成元年	4月	消防署所の適正配置と消防施設の整備計画により、野川出張所を宮前区に移転・改築した。
		消防署の機構改革により、副署長が配置され、3課（予防課、警防第1、2課）8係（庶務、予防、保安、救急、警備1・2、消防1・2）となった。
	5月	宮前区野川の建設現場（野川健康センター）の土砂崩れにより、死者5人、負傷者2人が生じた。
平成2年	2月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	3月	本署にポンプ積載車が配置、宮前分団神木班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
		宮前分団土橋班器具置場が改築された。
	4月	第2代消防署長の退職に伴い、第3代消防署長に山田秀久が就任した。
		幼年消防クラブが初山幼稚園及びゆりかご幼稚園の2園で発足した。
	6月	第4期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に本橋浦子が就任した。
		川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に本橋浦子が就任した。
	12月	宮前分団土橋班の消防ポンプ専用積載車が更新配置された。
平成3年	1月	向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	本署に水槽（2t）付消防ポンプ自動車が配置された。
	6月	宮前救急隊及び野川救急隊に自動車電話を新配置し、運用を開始した。
		第1期少年消防クラブが30人で発足した。運営委員長に三宅尤夫が就任した。
	10月	向丘出張所改築のため犬蔵出張所へ一時移転した。
		宮前分団土橋班の小型動力ポンプが更新配置された。
	11月	宮前分団有馬班の名称が住居表示の変更に伴い、馬絹班と変更した。
平成4年	4月	第3代消防署長の異動に伴い、第4代消防署長に三木康敬が就任した。
	6月	第5期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に与田好子が就任した。
	9月	週休二日制の試行に伴い、救急隊が3部制から2部制になり、訓令定員を155人とした。
	11月	本署の広報車が更新配置された。
	12月	向丘出張所の改築工事が完了し、業務を開始した。
		野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成5年	3月	週休二日制が導入され、訓令定員を156人とした。
	4月	第4代消防署長の退職に伴い、第5代消防署長に窪田正彦が就任した。

	5月	初代消防団長の退団に伴い、第2代消防団長に井田耕夫が就任した。
平成6年	12月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	4月	消防情報管理システムを導入し、運用を開始した。
	5月	防火推進モデル地区として大塚町内会を指定した。
	6月	第6期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に甲田悦子が就任した。
	9月	本署の査察車（Ⅱ型）、宮崎出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
平成7年	11月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	野川出張所に予備はしご車が配置換えされた。
	3月	救急救命士の配置に伴い、本署に高規格救急車が新配置された。
	4月	第5代消防署長の退職に伴い、第6代消防署長に小林一也が就任した。
	7月	宮前消防団発足10周年記念消防操法大会を実施した。
		向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	10月	宮前消防10周年記念誌を発刊した。
平成8年	11月	救急救命士の配置に伴い、野川出張所に高規格救急自動車が配置された。
	1月	本署の査察車（Ⅰ型）が更新配置された。
	3月	本団、向丘分団蔵敷班、宮前分団馬絹班の小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	条例改正により、宮前消防団員の定員を125人（女性含む）とした。
		第6代消防署長の異動に伴い、第7代消防署長に渡部清が就任した。
平成9年	6月	第7期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が就任した。
	2月	犬蔵出張所の水槽（5t）付消防ポンプ車が更新配置された。
	3月	川崎富士見ライオンズクラブから消防用調査連絡車の寄贈を受けた。
		野川分団の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	第7代消防署長の退職に伴い、第8代消防署長に岩井肇が就任した。
		防火推進モデル地区として馬絹小台町内会を指定した。
	6月	潮見台みどり幼稚園が3園目の幼年消防クラブとして結成された。
平成10年	10月	本署の広報車（Ⅲ型）が更新配置された。
	2月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
		向丘分団蔵敷班の対震用小型動力ポンプが更新された。
		宮前消防ボランティア委員会が発足し、初代委員長に猿橋脩恵が就任した。
		宮前消防ボランティア委員会発足に伴い、（株）タマショウ社長高原司氏から、ヘルメット300個の寄贈を受けた。
	6月	第8期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が引き続き就任した。
	7月	宮前防火協会が消防庁長官表彰を受賞した。
	10月	救助資器材として、ルーカス製ユニツール、救助用エアーマットが新配置された。
平成11年	4月	消防署の機構改革により、3課（予防課、警防第1、2課）、9係（庶務、予防、指導、警備1・2、消防1・2、救急1・2）となった。
	7月	消火機材として、インパルス消火システムが配置された。
	9月	宮前消防ボランティア委員会は、宮前区を5ブロックに区分し、各ブロックにリーダー1人、サブリーダー2人を選出し、配置した。

平成12年	4月	第8代消防署長の退職に伴い、第9代消防署長に千頭和雄一が就任した。
	6月	第9期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に綿藤子が就任した。
	9月	宮前区の人口が市内7区で、初めて20万人を超えた。
	10月	宮前分団馬絹班、野川分団南野川班に対震用小型動力ポンプが配置された。
	11月	第2代消防団長の退団に伴い、第3代消防団長に篠田茂が就任した。
平成13年	2月	本署の高規格救急自動車更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 平成12年度原子力防災資機材等緊急整備事業に基づき、原子力防災資機材等が配置された。
	4月	第9代消防署長の異動に伴い、第10代消防署長に菅原満が就任した。
	6月	少年消防クラブ初代運営委員長の辞任に伴い、第2代運営委員長に吉井勇が就任した。
	12月	野川出張所に配置されていた非常用はしご車を廃車した。 野川出張所の高規格救急自動車更新配置された。
平成14年	2月	野川出張所及び向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 第2代防火協会長の辞任に伴い、第3代会長に秋山義隆が就任した。
	4月	第10代消防署長の異動に伴い、第11代消防署長に小林道正が就任した。
	6月	第10期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に宗岡純子が就任した。
平成15年	3月	本署の救助工作車が更新配置された（II型→III型）。
	4月	第11代消防署長の退職に伴い、第12代消防署長に原光男が就任した。 消防署の機構改革により、副署長と予防課長が兼務となり、警防統括主幹が配置されると共に、3課（予防課、警防第1、2課）8係（庶務、予防、警防1・2、調査1・2、救急1・2）1主査（危険物担当）とされた。
平成16年	1月	宮崎出張所に高規格救急自動車配置された。
	4月	第12代消防署長の異動に伴い、第13代消防署長に中島清一が就任した。
	6月	本署の広報車が更新配置された。 宮前防火協会役員改選により、第4代会長に黒沢一之が就任した。 第11期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	11月	第3代消防団長の退団に伴い、第4代消防団長に石川富美雄が就任した。
平成17年	3月	菅生出張所の救急隊発隊と併せて、庁舎の増改築工事が完成し、高規格救急自動車配置された。
	4月	第13代消防署長の退職に伴い、第14代消防署長に江口昭男が就任した。 本署の40m級はしご車が更新配置された。
	5月	初代消防研究会長の辞任に伴い、第2代会長に猿橋脩恵が就任した。 初代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第2代委員長に中山悦義が就任した。
	7月	宮前消防団発足20周年記念消防操法大会を実施した。 宮前消防関係団体20周年記念表彰式において、川崎市消防局長から宮前消防関係3団体（宮前消防団、宮前防火協会、宮前消防研究会）に表彰状が授与された。

1	1月	宮前消防署20周年記念消防フェアを川崎市消防総合訓練場で開催した。 本署のポンプ積載車が更新配置された。
平成18年	6月	向丘分団神木班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。 第12期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。 川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に、芒崎八重子が就任した。
	8月	野川出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	9月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成19年	10月	救急救命士による薬剤投与の運用を開始した。
	1月	本署の水槽(2t)付消防ポンプ自動車(CD-I型)が更新配置された。
	2月	高度特別救助隊の運用開始に伴う人事異動により、訓令定員を172人とした。
	4月	第14代消防署長の退職に伴い、第15代消防署長に内田謙一が就任した。 宮前消防署に高度救助隊が発足し、運用を開始した。
	6月	宮前防火協会役員改選により、第5代会長に工藤正興が就任した。
平成20年	7月	市内一斉でPA連携の運用を開始した。
	1月	区内関係団体(宮前区役所、宮前警察署、宮前郵便局、宮前生活環境事業所)の協力を得て、宮前区救命ネットワークを立ち上げ、4月1日から運用開始することとなった。 本署及び野川出張所の高規格救急自動車と、宮崎出張所の消防ポンプ自動車(CD-I型)が更新配置された。
	4月	指揮情報隊の運用に伴う人事異動により、訓令定員を180人とした。 新中原消防署の竣工に伴い、野川出張所の防災資機材運搬車が新中原消防署に配置換えとなった。 菅生出張所の消防ポンプ自動車(CD-I型)は、車両更新計画に基づき予備車運用とされたことから、小田中出張所の消防ポンプ自動車(CD-I型)が配置換えとなった。
	6月	第13期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。
平成21年	7月	救急車の適正利用推進事業として、サポート救急の運用を開始した。
	9月	本署の広報車(軽ワゴン)が更新配置された。
	12月	野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	3月	本署の指揮車(普通ワゴン)が更新配置された。
	4月	向丘出張所の残留員の廃止により、訓令定員177人となった。 第15代消防署長の異動に伴い、第16代消防署長に南部浩一が就任した。 第4代消防団長の退団に伴い、第5代消防団長に永井輝政が就任した。
	6月	少年消防クラブ改選に伴い、第3代運営委員長に谷島義雄が就任した。
	9月	本署の査察車II(軽ワゴン)が更新配置された。
平成22年	11月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	3月	本署の消防ポンプ自動車(CD-I型)及び宮崎出張所の高規格救急車が更新配置された。 平成21年12月3日の宮前地区局所的豪雨災害を教訓として、宮前消防署、宮前区役所、宮前道路公園センター、宮前警察署から構成する宮前区災害対

		策連絡協議会が設置された。
平成23年	4月	第16代消防署長の異動に伴い、第17代消防署長に佐藤文隆が就任した。 本署に特殊災害対応自動車が配置された（臨港消防署から配置換え）。 本署に大型除染システム搭載車が配置された（総務省消防庁から貸与）。
	6月	第14期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が引き続き就任した。
	11月	日本APEC開催に伴う特別警防体制を実施した（救急隊増隊等）。
	4月	向丘出張所に市内25隊目の救急隊が配置された （向丘救急隊の運用に伴い訓令定数を187人とした）。
	8月	向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生ヶ丘において、焼損面積が3,000㎡を超える倉庫火災が発生した。
平成24年	11月	向丘出張所の高規格救急車が更新配置された。
	3月	菅生出張所の高規格救急車が更新配置された。
	4月	第17代消防署長の異動に伴い、第18代消防署長に庄司茂が就任した。 消防団員用MCA無線機及びトランシーバーが配置された（消防団安全対策 設備整備事業）。
	6月	第5代消防団長の退団に伴い、第6代消防団長に吉田義一が就任した。
	7月	第15期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	7月	宮前防火協会役員改選により、第6代会長に杉田進が就任した。
	8月	ヘリコプターテレビ簡易受信装置が配置され、運用開始した。
平成25年	10月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	本団、宮前分団土橋班、向丘分団神木班、野川分団野川班の対震用小型動力 ポンプが更新配置された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の水槽付（4t）ポンプ車が更新配置された。
	4月	第18代消防署長の退職に伴い、第19代消防署長に並木努が就任した。
	5月	警防査察用オートバイが3台更新配置された。 第2代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第3代委員長に砂川徹夫が就 任した。
	11月	新市長登庁に伴い、多摩消防署の災害対応指令車（多摩指揮2）が宮前消防 署本署に配置換えになり、宮前指揮2として配置された。
平成26年	12月	宮前分団馬絹班、向丘分団蔵敷班、野川分団南野川班の対震用小型動力ポン プが更新配置された。
	2月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 本署の高規格救急自動車が更新配置された。 有馬白百合幼稚園より、AEDレサシアン（成人）2体及びAEDトレーナ ー2基が寄贈された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。 宮前区内に在住のバイク愛好家らで構成されるペガサス宮前と東日本大震災 が発生した3月11日に災害時連携協約を締結した。

	6月	第16期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。
	9月	警防査察用オートバイが5台更新配置された。
	11月	区内避難所（指定された小中学校）に消火ホースキットの配置を開始した（3年計画で初回は鷺沼小学校に配置）。
平成27年	3月	宮前消防団発足30周年式典を開催した。 向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	4月	川崎市消防署の組織に関する規定の一部改正により訓令定数を184人とした。 第19代消防署長の異動に伴い、第20代消防署長に原悟志が就任した。 第6代消防団長の退団に伴い、第7代消防団長に秋山明が就任した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。 本署のはしご車（30m級）が更新配置された。
	6月	宮前防火協会改選により、第7代会長石田周二が就任した。 警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	7月	本署の広報車が更新配置された。
平成28年	3月	菅生出張所改築工事が終わり、運用を開始した。
	4月	第20代消防署長の異動に伴い、第21代消防署長に金子智哉が就任した。 本署の特殊災害対応自動車及び高度救助用資機材の更新配置等に伴い、宮前高度救助隊を宮前特別高度救助隊として、運用を開始した。
	6月	少年消防クラブ改選に伴い、第4代運営委員長に篠崎英雄が就任した。
	7月	第17期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。 野川出張所の大型除染システム搭載車が犬蔵出張所に配置換えとなった。 本署の広報車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	12月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成29年	3月	消防団員用MCA無線機6台が追加配置された。
	4月	宮前ジュニアハイスクール消防隊育成指導が本格運用することとなった。
	5月	宮前消防研究会改選により、第3代会長檜垣隆三が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第8代会長渡邊浩志が就任した。
	7月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	12月	本署の救助工作車が更新配置された。
平成30年	1月	向丘出張所、菅生出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	4月	第21代消防署長の退職に伴い、第22代消防署長に砥石勝美が就任した。 第7代消防団長の退団に伴い、第8代消防団長に杉田正文が就任した。
	7月	第18期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に岡本朋子が就任した。
	11月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成31年	2月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
令和元年	5月	少年消防クラブ改選に伴い、第5代委員長に野村美千代が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第9代会長石川閣が就任した。
令和2年	2月	警防部警防課の警防連絡車が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として更新配置された。

令和2年	3月	宮前地区婦人消防隊委員会が解散した。
	9月	本署の査察車（スバル）が更新配置された。
	11月	本署の高規格救急自動車更新配置された。
		向丘分団神木班の小型動力ポンプが更新配置された。
令和3年	2月	本署のポンプ積載車が更新配置された。
	4月	第22代消防署長の異動に伴い、第23代消防署長に杉山哲男が就任した。

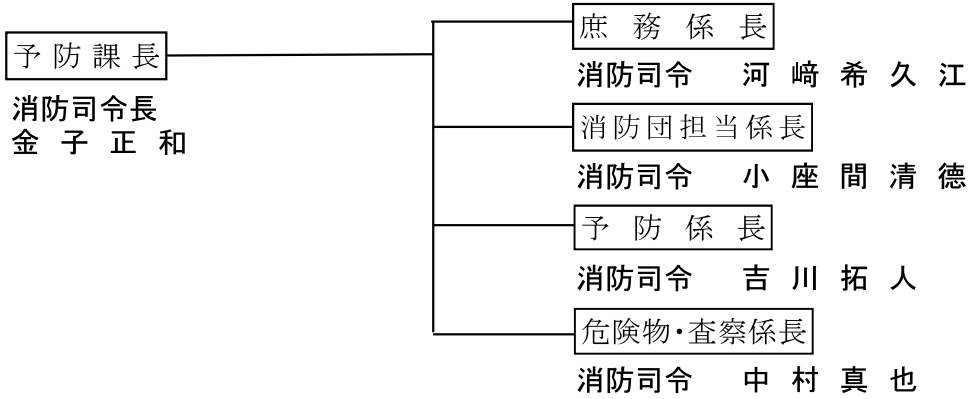
消防署の組織

(令和3年4月1日現在)

◆ 署長
消防監
杉山哲男

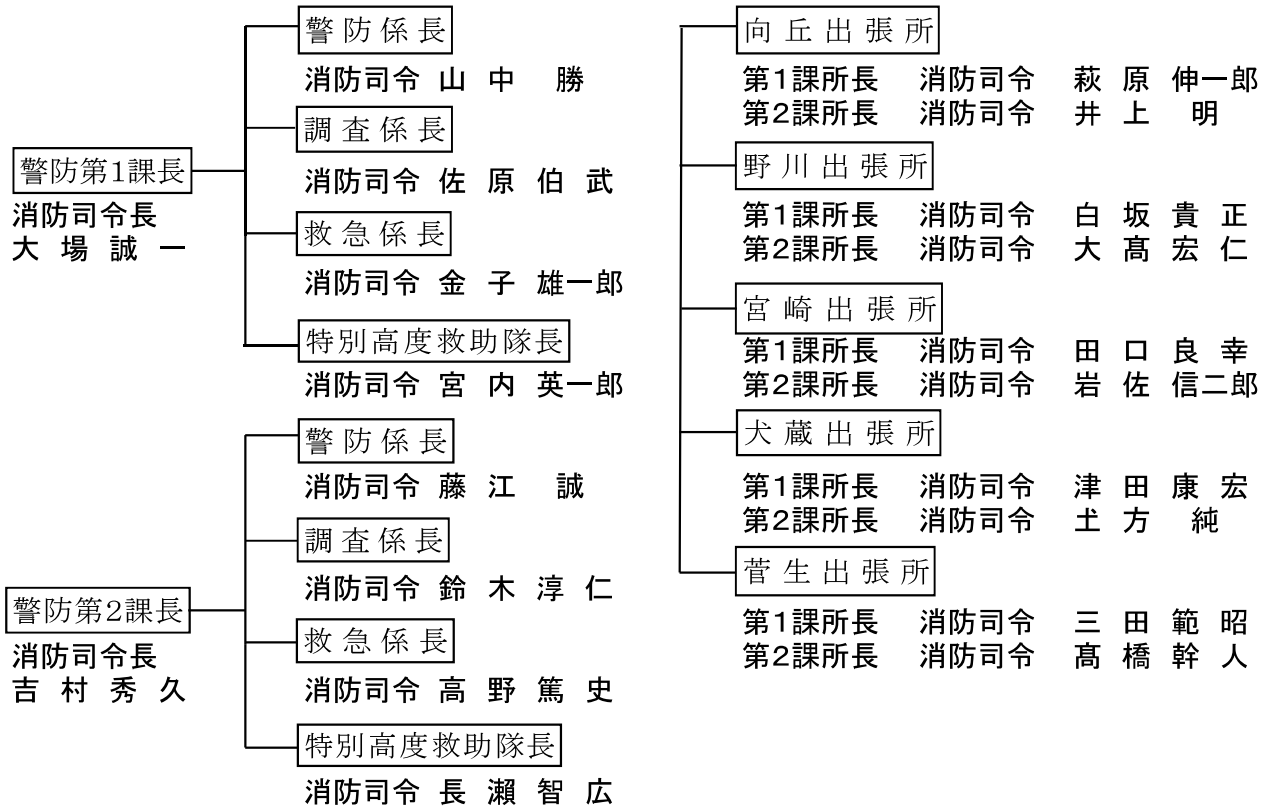
副署長
消防司令長
浅井国春
(宮前区役所担当課長併任)

◆ 予防課



◆ 警防課

警防統括担当課長
消防司令長
西村崇



消防署の事務分掌

消防署

予防課

(庶務係)(予防係)(危険物・査察係)(消防団担当)

- 公印の保管に関する事。
- 公文書の管理に関する事。
- 署員の人事及び配置に関する事。
- 署員の給与等の支給に関する事。
- 署員の安全管理、福利厚生及び公務災害に関する事。
- 署員の研修管理に関する事。
- 消防施設の保守管理に関する事。
- 物品の出納保管に関する事。
- 消防用油脂類に関する事。
- 車両の点検及び定期点検に関する事。
- 消防団等に関する事。
- 消防団の機械器具等に関する事。
- 広報及び広聴に関する事。
- 署内他の係の主管に属しない事。
- 火災予防の実施計画に関する事。
- 防火管理に関する事。
- 防災管理に関する事。
- 建築物の消防同意及び検査に関する事。
- 火災予防関係の申請及び届出に関する事。
- 屋外の火災予防に関する事。
- 防火協会等各種団体に関する事。
- 消防用設備等に関する事。
- 防火対象物に係る立入検査及び違反処理に関する事。
- 防火対象物の表示制度等に関する事。
- その他火災予防に関する事。
- 危険物製造所等の許可、承認及び届出に関する事。
- 危険物製造所等の完成検査前検査及び完成検査に関する事。
- 危険物製造所等の保安に関する事。
- 危険物施設等に係る立入検査及び違反処理に関する事。
- 少量危険物及び指定可燃物の届出並びにタンクの水張検査等に関する事。
- 危険物及び指定可燃物に係る災害調査に関する事。
- 危険物施設消防設備等に関する事。
- 危険物事故防止等に関する事。
- 危険物許可手数料の徴収、出納に関する事。
- 火薬類及び高圧ガスに関する事。

警防第1課・警防第2課

(警防係)(調査係)(救急係)

- 災害活動に関する事。

- 警防計画及び防災対策に関すること。
- 警防体制、災害活動の指揮に関すること。
- 消防職員及び消防団員の動員に関すること。
- 火災警報、消防信号及び消防通信に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 消防隊等の運用及び訓練に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導等に関すること。
- 圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に関すること。
- 消防用機械器具に関すること。
- 機関員の技術指導に関すること。
- 消火薬剤等に関すること。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 指揮情報隊に関すること。
- 火災統計に関すること。
- 災害情報及び災害現場広報に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 課の安全管理に関すること。
- 救急活動に関すること。
- 救急隊の運用及び訓練に関すること。
- メディカルコントロールに関すること。
- 救急資機材に関すること。
- 救急統計に関すること。
- 救急技術の研究に関すること。
- 市民に対する救急技術の指導及び救急知識の普及に関すること。
- 救急告示医療機関等の連絡に関すること。
- その他救急業務に関すること。

出張所

- 消防施設の保守管理に関すること。
- 物品の保管に関すること。
- 広報広聴に関すること。
- 消防用機械器具に関すること。
- 警防計画に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 災害情報の収集に関すること。
- 職場研修に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練指導に関すること。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 救急に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 消防法、川崎市火災予防条例及び川崎市防火管理等に関する規程に基づく届出等のうち別に定めるものの処理に関すること。
- その他、消防長が定める事項に関すること。

消 防 職 員 の 配 置

(令和3年4月1日現在)

区 分		小 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	定 員	184	1	5	20	158			
	現 員	181 (3) 〔32〕	1	5	22 (1) 〔3〕	35 (1) 〔9〕	55 (1) 〔14〕	4	59 〔6〕
本 署	予 防 課 (署長及び副署長含む)	18 (3) 〔2〕	1	2	4 (1) 〔1〕	6 (1) 〔1〕	2 (1) 〔1〕		3
	警防第1課 (警防統括担当課長を含む)	31 〔4〕		2	4 〔1〕	6 〔1〕	13		6 〔2〕
	警防第2課	30 〔4〕		1	4 〔1〕	6 〔1〕	13 〔2〕		6
出 張 所	向丘出張所	22 〔5〕			2	3 〔1〕	6 〔3〕		11 〔1〕
	野川出張所	22 〔6〕			2	4 〔2〕	5 〔3〕	1	10 〔1〕
	宮崎出張所	22 〔6〕			2	4 〔2〕	6 〔3〕	1	9 〔1〕
	犬蔵出張所	14			2	2	5	2	3
	菅生出張所	22 〔5〕			2	4 〔2〕	5 〔2〕		11 〔1〕

※ () 内は、女性職員数、〔 〕 は救急救命士で、内数で示しています。

消 防 署 所 の 配 置 車 両 等 の 状 況

車 種	小 計	本 署	野 川	宮 崎	向 丘	犬 蔵	菅 生
消防ポンプ自動車	7 (1)	1	1	1	1	2 (1)	1
水槽付消防ポンプ車	2	1				1	
はしご付消防自動車	1	1					
救助工作車	1	1					
特殊災害対応自動車	1	1					
大型除染システム搭載車	1					1	
高規格救急自動車	6 (1)	2 (1)	1	1	1		1
指 揮 車	2	2					
ポンプ積載車	1	1					
広 報 車	2	2					
査 察 車	2	2					
合 計	26 (2)	14 (1)	2	2	2	4 (1)	2

※ () 内は、非常用車両で、内数で示しています。

消防署管内図等

(令和3年4月1日現在)

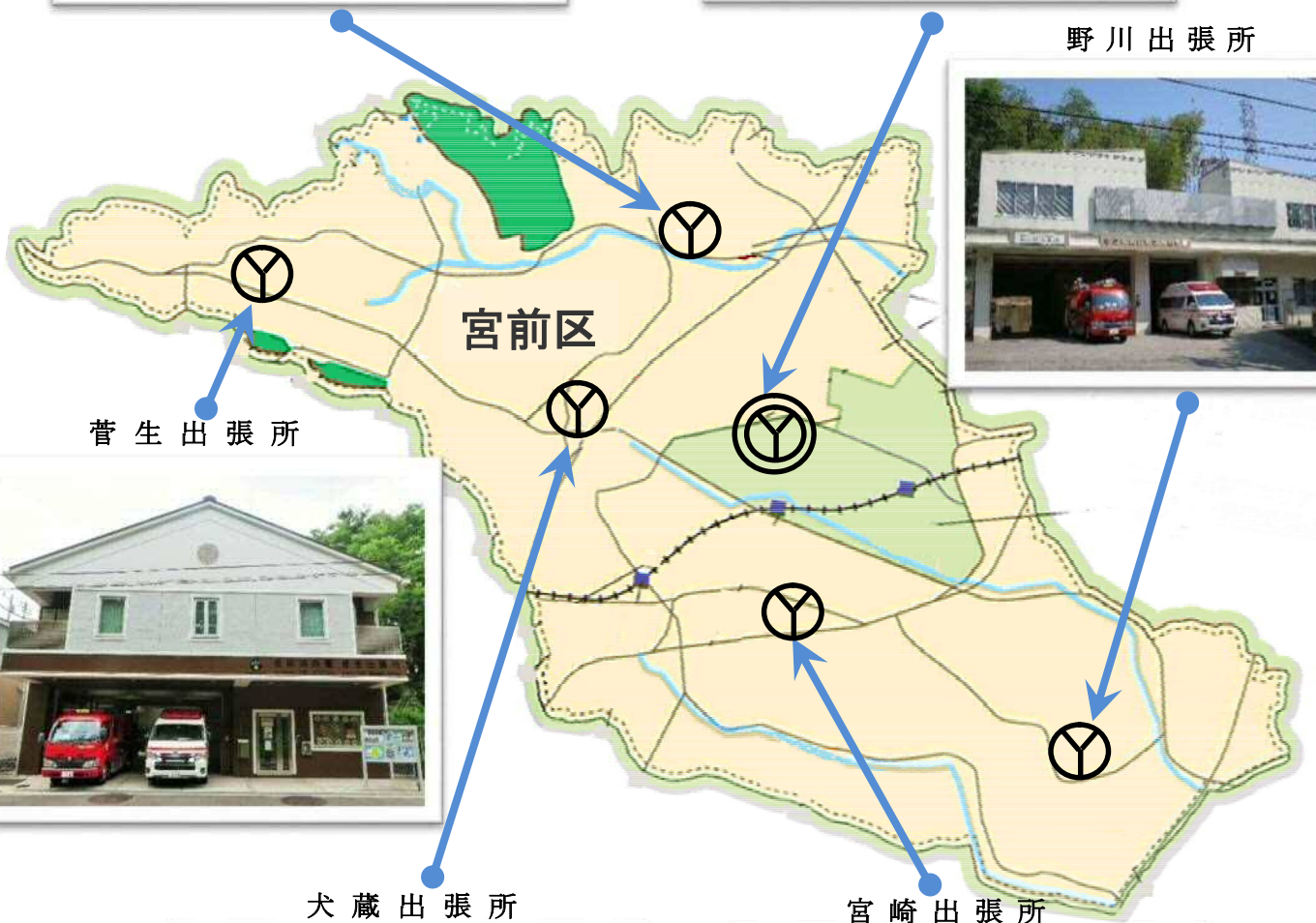
向丘出張所



宮前消防署



野川出張所



菅生出張所



犬蔵出張所



宮崎出張所



消防署所の受持区域及び応援区域

(令和3年4月1日現在)

署 所	受 持 区 域	隣接都市応援区域
本 署 宮前平 2-20-4	宮前区のうち 宮崎 宮崎1～6丁目 宮前平1～3丁目 神木1・2丁目 馬絹5・6丁目 小台1・2丁目 土橋1・2・7丁目	東名高速道路のうち川崎インターチェンジから東京インターチェンジまでの区間の上り線及び川崎インターチェンジから横浜青葉インターチェンジまでの区間の下り線 東名高速道路のうち横浜青葉インターチェンジ下り線から横浜北西線までの区間
向丘出張所 平 1-4-17	宮前区のうち 神木本町1～5丁目 平1～6丁目 五所塚1・2丁目 けやき平 南平台 白幡台1・2丁目	
野川出張所 西野川 2-7-8	宮前区のうち 野川台1～3丁目 野川本町1～3丁目 西野川1～3丁目 南野川1～3丁目 梶ヶ谷	横浜市都筑区のうち東山田町、東山田1～4丁目、南山田町、南山田1～3丁目、北山田1～7丁目
宮崎出張所 有馬 2-8-11	宮前区のうち 有馬1～9丁目 東有馬1～5丁目 馬絹1～4丁目	横浜市都筑区のうち牛久保町、牛久保1～3丁目、牛久保西1・3丁目、牛久保東1～3丁目、すみれが丘、大圃町、大圃西、中川6丁目、中川中央1丁目、あゆみが丘、青葉区のうち新石川1～4丁目
犬蔵出張所 犬蔵 1-10-2	宮前区のうち 犬蔵1～3丁目 初山2丁目 菅生6丁目 土橋3～6丁目 鷺沼1～4丁目	横浜市青葉区のうち元石川町、美しが丘1～5丁目、美しが丘西1～3丁目 東名高速道路のうち本署応援区域に同じ
菅生出張所 菅生 3-43-23	宮前区のうち 菅生ヶ丘 水沢1～3丁目 潮見台 菅生1～5丁目 初山1丁目	

(総務企画局情報管理部統計情報課資料 令和3年4月1日現在)

宮前区： 面積 18.60km² 世帯数 103,032世帯 人口 233,842人

防火対象物の状況

(令和3年3月31日現在)

区 分	対象物 (第1種)	対象物 (第2種)	対象物 (第3種)	小 計
劇場、映画館等	—	—	—	0
公会堂、集会場	—	—	—	0
キャバレー、ナイトクラブ等	—	—	—	0
遊技場、ダンスホール	3	—	—	3
性風俗営業店舗等	—	—	—	0
カラオケボックス等	1	—	—	1
待合料理店等	—	—	—	0
飲食店	52	—	8	60
百貨店、マーケット等	72	—	31	103
旅館、ホテル等	6	—	1	7
寄宿舎、共同住宅等	—	748	2,400	3,148
病院、診療所等	9	—	25	34
福祉施設(入所)等	46	—	9	55
福祉施設(通所)等	80	—	25	105
幼稚園、特別支援学校	14	—	—	14
小、中、高等学校、大学等	—	27	—	27
図書館、博物館	—	2	—	2
蒸気浴場、熱気浴場等	—	—	—	0
上記以外の公衆浴場	—	1	—	1
車両の停車場等	—	—	2	2
神社、寺院等	—	9	12	21
工場、作業場	—	2	100	102
映画スタジオ等	—	—	2	2
自動車車庫等	—	—	12	12
飛行機格納庫等	—	—	—	0
倉庫	—	5	84	89
前各号に該当しない事業場	—	78	124	202
複合用途(16項イ)	278	—	188	466
複合用途(16項ロ)	—	82	349	431
その他	—	—	—	—
合 計	561	954	3,372	4,887

※「第1種」とは、特定防火対象物で収容人員30人(福祉施設入所10人)以上のもの

※「第2種」とは、非特定防火対象物で収容人員50人以上のもの

※「第3種」とは、自動火災報知設備または消火器を設置しなければならないもの

(第1種、第2種を除く)

消防用設備等の設置状況

(令和3年3月31日現在)

消防設備名	対象数
屋内消火栓設備	360
スプリンクラー設備	101
水噴霧消火設備等	149
屋外消火栓設備	5
動力消防ポンプ設備	0
自動火災報知設備	1,582
ガス漏れ火災警報設備	7
漏電火災警報器	272
非常警報設備	403
避難器具	567
誘導灯	1,455
消防用水	2
排煙設備	8
連結散水設備	19
連結送水管	223
非常コンセント設備	10
合 計	5,163

各種届出状況

(令和2年度中)

届出設備	届出数
消防(防災)計画作成(変更)届出書	428
防火防災管理者選任(解任)届出書	363
全体についての消防計画作成(変更)届出書	32
統括防火防災管理者選任(解任)届出書	16
喫煙、裸火使用又は危険物品持込み承認申請書	3
防火対象物使用開始届	133
改装工事届	3
火を使用する設備等の設置届	13
電気設備設置届	37
消防用設備等工事計画届	134
工事整備対象設備等着工届出書	172
消防用設備等設置届出書	257

防火・防災管理対象物及び消防計画届出状況

(令和3年3月31日現在)

用 途 別		防火管理対象物	防災管理対象物	消防計画
		対象数	対象数	届出数
1 項	イ 劇場、映画館等	-	-	-
	ロ 公会堂、集会場	-	-	-
2 項	イ キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	-	3
	ハ 性風俗営業店舗等	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	1	-	1
3 項	イ 待合、料理店等	-	-	-
	ロ 飲食店	52	-	49
4 項	百貨店、マーケット等	72	-	68
5 項	イ 旅館、ホテル等	6	-	6
	ロ 寄宿舍、共同住宅等	748	-	667
6 項	イ 病院、診療所等	9	-	9
	ロ 福祉施設(入所)等	46	-	44
	ハ 福祉施設(通所)等	80	-	76
	ニ 幼稚園、特別支援学校	14	-	14
7 項	小、中、高等学校、大学等	27	-	26
8 項	図書館、博物館等	2	-	2
9 項	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-
	ロ イ以外の公衆浴場	1	-	1
10 項	車両の停車場等	-	-	-
11 項	神社、寺院等	9	-	9
12 項	イ 工場、作業場	2	-	2
	ロ 映画スタジオ等	-	-	-
13 項	イ 自動車車庫等	-	-	-
	ロ 飛行機格納庫等	-	-	-
14 項	倉庫	5	-	5
15 項	前各号に該当しない事業場	78	-	66
16 項	イ 複合用途	278	2	237
	ロ イ以外の複合用途	82	-	66
16項の2	地下街	-	-	-
合 計		1,515	2	1,351

建築同意事務処理状況

(用途及び構造別処理件数)

(令和2年度中)

用途別 構造別	小計	耐火建築物	準耐火建築物	不燃建築物	防火建築物	木造建築物
劇場、映画館等	-	-	-	-	-	-
公会堂、集会場	-	-	-	-	-	-
キャバレー、ナイトクラブ等	-	-	-	-	-	-
遊技場、ダンスホール	-	-	-	-	-	-
性風俗営業店舗等	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
待合料理店等	-	-	-	-	-	-
飲食店	3	1	1	-	1	-
百貨店、マーケット等	-	-	-	-	-	-
旅館、ホテル等	-	-	-	-	-	-
寄宿舎、共同住宅等	48	24	15	-	8	1
病院、診療所等	1	-	-	-	1	-
福祉施設(入所)等	12	2	3	3	4	-
福祉施設(通所)等	-	-	-	-	-	-
幼稚園、特別支援学校	-	-	-	-	-	-
小、中、高等学校、大学等	-	-	-	-	-	-
図書館、博物館	-	-	-	-	-	-
蒸気浴場、熱気浴場等	-	-	-	-	-	-
上記以外の公衆浴場	-	-	-	-	-	-
車両の停車場等	-	-	-	-	-	-
神社、寺院等	-	-	-	-	-	-
工場、作業場	-	-	-	-	-	-
映画スタジオ等	-	-	-	-	-	-
自動車車庫等	3	1	-	1	1	-
飛行機格納庫等	-	-	-	-	-	-
倉庫	3	2	-	1	-	-
前各号に該当しない事業場	11	2	3	4	2	-
複合用途(16項イ)	9	7	-	1	1	-
複合用途(16項ロ)	1	-	-	-	1	-
地下街	-	-	-	-	-	-
アーケード	-	-	-	-	-	-
専用住宅	300	8	133	4	154	1
工作物(エレベーター)	-	-	-	-	-	-
合計	391	47	155	14	173	2

危険物許可施設状況

(令和3年3月31日現在)

署所別 施設別		署所別						合計
		本署	向丘	野川	宮崎	犬蔵	菅生	
予防規程該当	一般取扱所	—	—	—	—	6	1	7
	営業用給油取扱所	3	3	3	3	4	2	18
その他の施設	屋内貯蔵所	4	3	3	—	2	4	16
	屋内タンク貯蔵所	—	—	1	—	3	—	4
	地下タンク貯蔵所	3	2	5	—	4	5	19
	移動タンク貯蔵所	—	—	11	—	—	—	11
	屋外貯蔵所	—	—	—	—	—	—	0
	自家用給油取扱所	1	—	2	—	2	2	7
	一般取扱所	1	1	2	—	2	1	7
合計		12	9	27	3	23	15	89

少量危険物施設状況

(令和3年3月31日現在)

署所別 施設別	署所別						合計
	本署	向丘	野川	宮崎	犬蔵	菅生	
少量危険物施設	49	29	39	46	32	59	254

危険物保安監督者選任状況

(令和3年3月31日現在)

選任者数	事業所数	施設数
182	42	48

月別火災状況

(令和2年中)

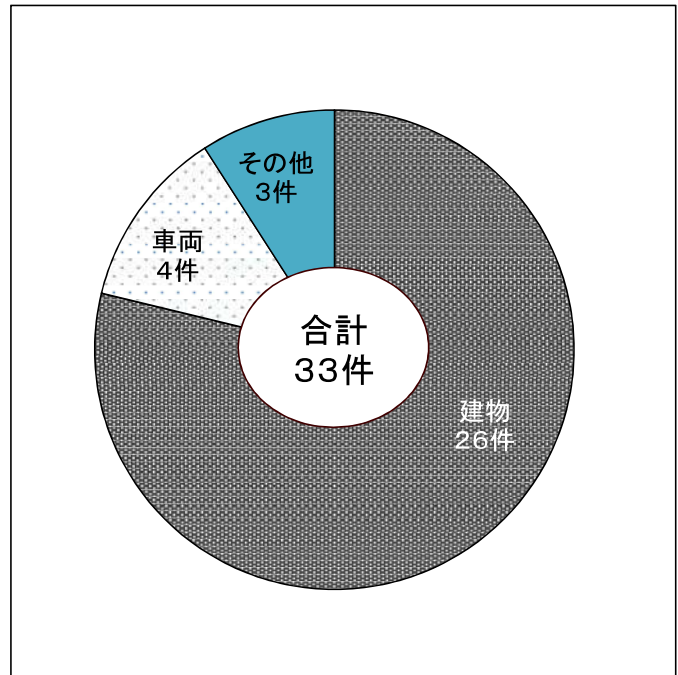
	火災件数					焼損面積 m ² (表面積)	損害額 千円	死者	負傷者
	計	建物	車両	船舶	その他				
1月	7	5	1	0	1	196 (0)	9,809	0	2
2月	1	1	0	0	0	0 (0)	2	0	0
3月	3	2	0	0	1	0 (0)	4,004	0	5
4月	4	4	0	0	0	21 (3)	541	0	2
5月	2	2	0	0	0	0 (0)	2	0	1
6月	3	2	1	0	0	0 (0)	721	0	0
7月	3	3	0	0	0	115 (19)	9,083	0	2
8月	3	3	0	0	0	46 (3)	2,073	0	7
9月	1	1	0	0	0	15 (0)	765	0	0
10月	3	1	1	0	1	0 (0)	1,552	0	1
11月	1	1	0	0	0	112 (0)	7,741	0	1
12月	2	1	1	0	0	0 (0)	112	0	0
宮前区合計	33	26	4	0	3	505 (25)	36,405	0	21
川崎市	326	224	24	0	78	4,748 (414)	229,646	8	78
比率 (%)	10.1	11.6	16.7	0.0	3.8	10.6 (6.0)	15.9	0.0	26.9

※ 焼損面積については建物のみ

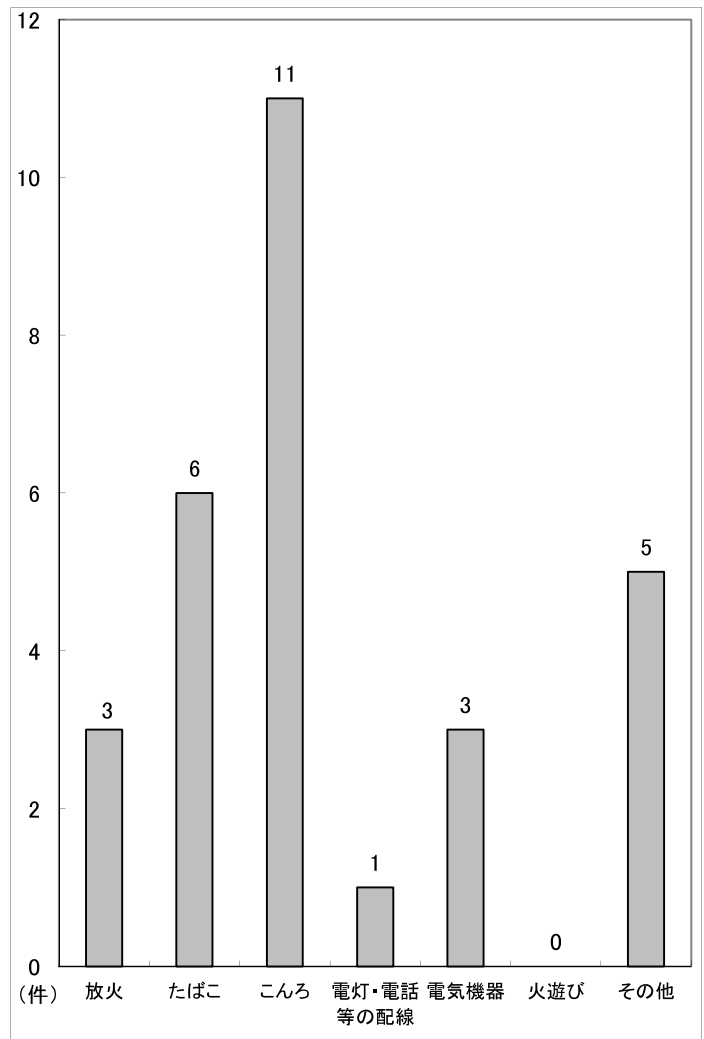
署所別火災件数 (令和2年中)

署所名	町 丁 名	件 数
本 署	宮前平2丁目	2
	宮 崎	2
	宮崎1丁目	1
	小台1丁目	1
	土橋1丁目	1
	馬絹5丁目	1
	小 計	8
向 丘	南 平 台	3
	け や き 平	2
	平 2 丁 目	1
	平 3 丁 目	1
	小 計	5
野 川	野 川	1
	野川本町1丁目	1
	野川本町2丁目	1
	西野川1丁目	1
	梶ケ谷	1
	小 計	5
宮 崎	有馬1丁目	1
	有馬6丁目	1
	有馬7丁目	1
	東有馬2丁目	1
	馬絹3丁目	1
	小 計	5
犬 蔵	犬蔵1丁目	1
	犬蔵2丁目	1
	鷺沼1丁目	1
	土橋4丁目	1
	菅生6丁目	1
	小 計	5
菅 生	菅生3丁目	1
	菅生4丁目	1
	菅生ケ丘	1
	小 計	3
合 計		33

火災種別件数 (令和2年中)



出火原因別件数 (令和2年中)



令和2年中の主な火災

月 日	覚 知	現 場		焼損程度	死 傷 者	
		所在地	用 途		死者	負傷者
1月9日	119 (携帯)	犬蔵 1丁目	住宅	防火造2階建て、建築面積約121平方メートル、延べ面積約196平方メートルの住宅1棟全焼 類焼2棟	0	1
8月20日	119 (IP)	有馬 6丁目	共同住宅	耐火造3階建て共同住宅、建築面積2,014平方メートル、延べ面積5,739平方メートルのうち、210号室(占有面積100平方メートル)42平方メートル及び外壁3平方メートル焼損並びに外壁19平方メートルすすけ、110号室92平方メートル水損	0	4
11月15日	119 (固定)	野川本町 2丁目	事務所 守衛所 質店	防火造2階建て、建築面積148平方メートル、延べ面積298平方メートルの事務所併用共同住宅のうち、1階55.8平方メートル、2階55.8平方メートル焼損、101号室及び205号室若干水損並びに103号室若干汚損 類焼4件	0	1

※ 死傷者が発生した火災及び社会的影響があった火災

過去5年間の火災発生状況

年中		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火災件数		23	32	43	23	33
区分	建物	13	22	24	17	26
	車両	3	2	7	0	4
	その他	7	8	12	6	3
焼損面積 (㎡)		209	93	140	13.1	505
損害額(千円)		23,859	6,887	12,481	7,765	36,405
焼損棟数		10	23	27	17	27
死者		1	1	2	1	0
負傷者		6	4	12	2	21
り災世帯		19	19	34	11	40
り災人員		36	37	72	35	77
出火原因別	放火 (疑いを含む)	7	14	6	3	3
	こんろ	2	5	7	2	11
	たばこ	4	2	8	6	6
	電気関係	1	5	9	7	6
	火遊び	0	0	3	2	0
	その他	6	6	9	3	7

過去5年間のガス事故発生状況

年 別		平成28年				平成29年				平成30年				令和元年				令和2年			
種別	区分	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計	都市ガス	液化石油ガス	その他	合計
		漏洩				0	1				1		1		1	1	1		2		2
中毒				0					0				0				0				0
爆発				0					0				0				0				0
火災			1		1		2		2				0				0		2		2
合計		0	1	0	1	1	2	0	3	0	1	0	1	1	1	0	2	0	4	0	4

消防署所別管内消防隊災害出場状況

(令和2年中)

種別及び項目		署所別						
		合 計	本 署	向 丘	野 川	宮 崎	犬 蔵	菅 生
火 災	出場件数	42	10	11	7	5	6	3
	出場隊数	265	62	61	59	19	34	30
	出場人員	1,072	229	247	226	94	165	111
	放水隊数	23	4	9	1	3	6	0
警 戒	出場件数	48	9	2	8	13	10	6
	出場隊数	238	45	8	47	59	49	30
	出場人員	817	157	28	129	218	176	109
偵 察	出場件数	113	32	16	11	17	29	8
	出場隊数	146	43	21	11	17	42	12
	出場人員	585	172	82	47	68	167	49
救 助	出場件数	98	24	23	19	10	12	10
	出場隊数	462	104	109	96	49	61	43
	出場人員	1,744	436	406	348	176	221	157
そ の 他	出場件数	178	27	25	40	48	8	30
	出場隊数	347	56	49	77	98	11	56
	出場人員	1,214	186	175	251	355	43	204
合 計	出場件数	470	91	75	90	95	63	56
	出場隊数	1,456	311	244	283	261	196	161
	出場人員	5,369	1,144	914	1,021	960	737	593
	放水隊数	21	4	3	7	1	6	0

※ 指令による出場件数です。

※ その他には、管外応援・他署管内・風水害調査、火災及び救助出場の誤報並びに虚報を含む。

過去5年間の救急事故種別状況（出場件数）

(件数)

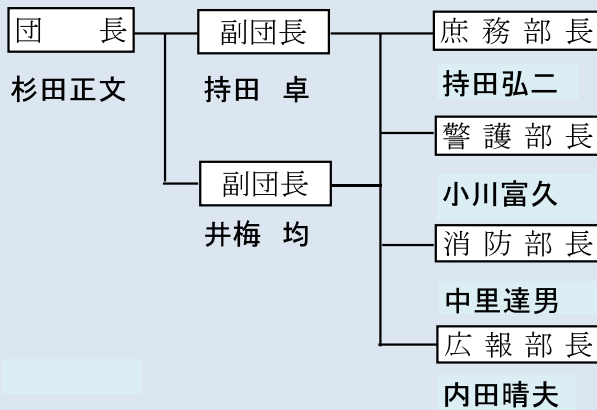
年 別 種 別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
急 病	7,943	8,211	8,393	8,937	7,377
交通事故	825	790	761	661	581
一 般	1,784	1,794	1,974	2,029	1,834
労働災害	61	76	72	72	64
加 害	53	47	53	47	42
自 損	118	106	108	109	79
火 災	31	26	40	30	40
運 動	45	31	21	31	12
自然災害	1	2	3	1	0
水難事故	1	0	0	2	0
転院搬送	510	515	501	641	447
医師搬送	3	1	1	0	0
資機材搬送	0	0	0	0	0
そ の 他	434	385	407	452	368
合 計	11,809	11,984	12,334	13,012	10,844

宮前消防団の組織

(令和3年4月1日現在)

◆ 本団

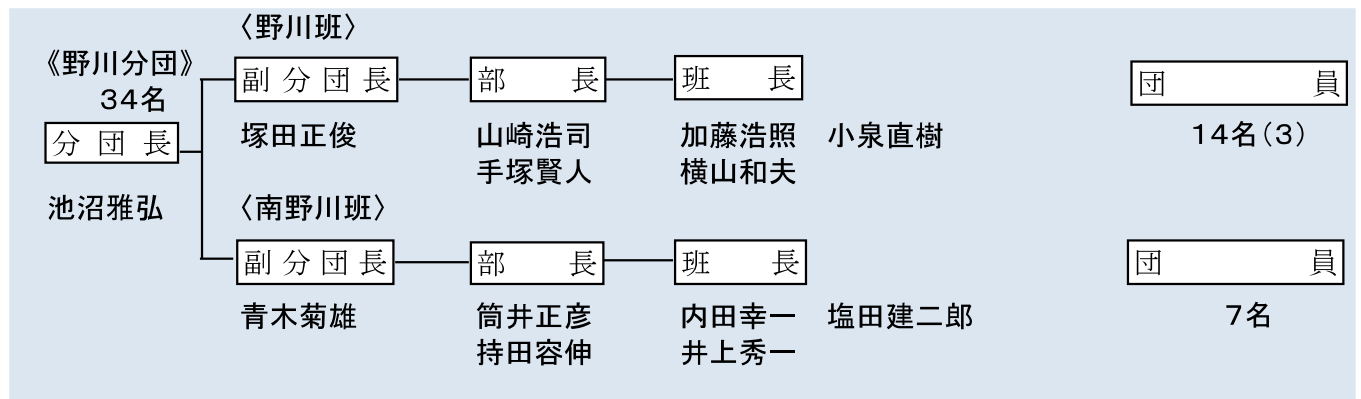
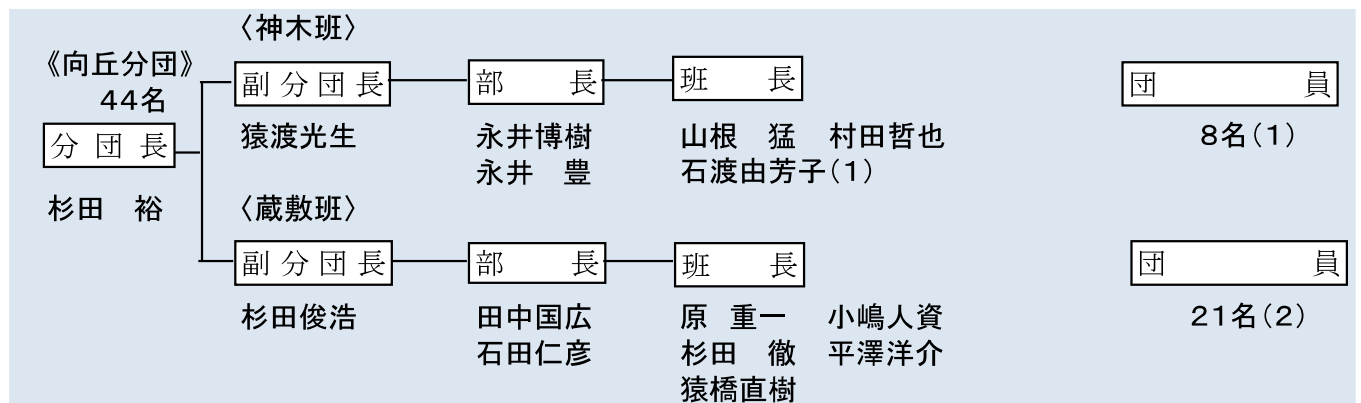
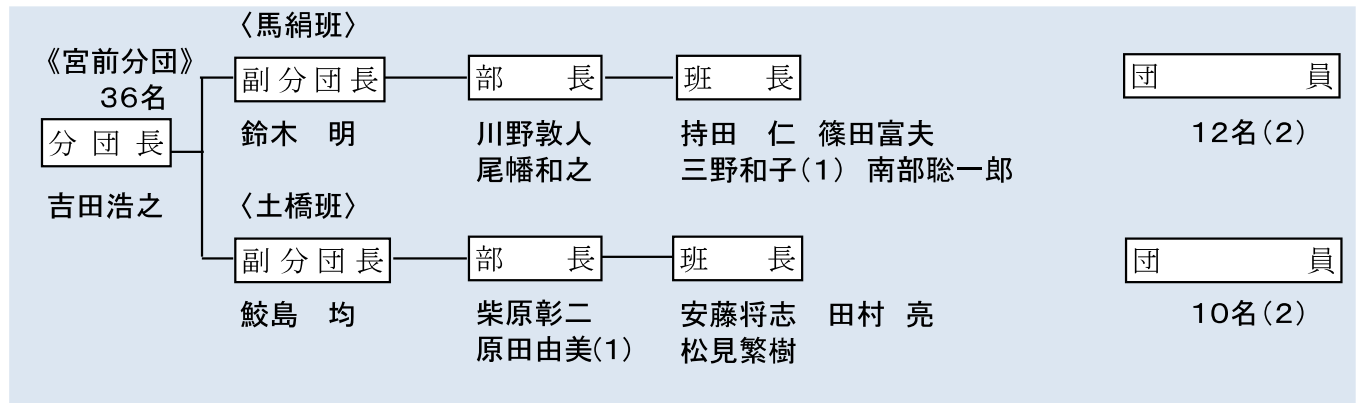
◆ 消防団の配置車両等の状況



本部・分団	班別・車両	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	対震用小型ポンプ(台車付)	備考
本 団			1		本署保管
宮前分団	馬絹班	1		1	
	土橋班	1		1	
向丘分団	蔵敷班	1		1	
	神木班	1		1	
野川分団	野川班	1		1	
	南野川班	1		1	
合 計		6	6	1	6

機能別団員 大規模災害団員(後方支援活動)・広報活動団員 8名(8)

◆ 分団



※ 団員中()内は、女性団員で内数です。消防団員の定数は137名であり、現員は129名となっています。

宮前消防団管内図等

(令和3年4月1日現在)



向丘分団蔵敷班



向丘分団神木班



宮前分団土橋班



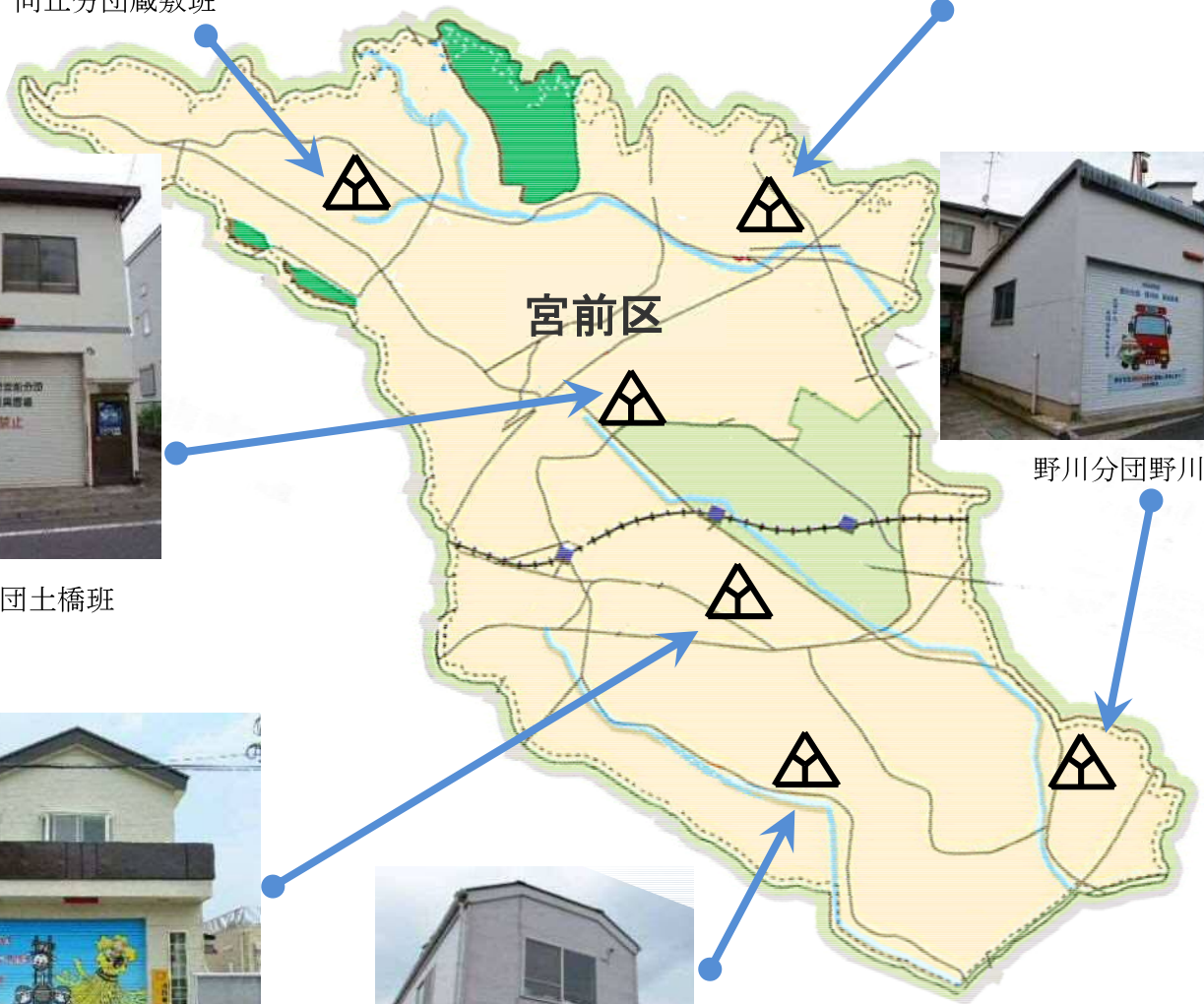
野川分団野川班



宮前分団馬絹班



野川分団南野川班



宮前区救急告示・救命救急センター医療機関

(令和3年4月1日現在)

病 医 院 名	診 療 科 目	所 在 地 ・ 電 話 番 号
聖マリアンナ 医科大学病院 救命救急センター	全 科	宮前区菅生2-16-1 (977-8111)

※ 令和3年4月1日現在宮前区には救急告示医療機関はありません。

消 防 協 力 団 体

(令和3年4月1日現在)

宮前防火協会	(会員183団体、事業所)
宮前消防研究会	(会員38事業所)
宮前地区婦人消防隊委員会	令和2年3月解散
宮前消防ボランティア委員会	(会員31名)
宮前地区少年消防クラブ	(クラブ員17名)
初山幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員239名)
ゆりかご幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員261名)
潮見台みどり幼稚園幼年消防クラブ	(クラブ員316名)



おうち時間 家族で点検 火の始末

《令和3年度全国統一防火標語》

宮前消防署

郵便番号 216-0006

所在地 川崎市宮前区宮前平2丁目20番地4

電話番号 044-852-0119

FAX 044-862-2795

【メール】 84miyo@city.kawasaki.jp

【メール】 84mi1k@city.kawasaki.jp

【メール】 84mi2k@city.kawasaki.jp

宮崎出張所

郵便番号 216-0003

所在地 川崎市宮前区有馬2丁目8番11号

電話番号 044-855-0119

【メール】 84miyaza@city.kawasaki.jp

向丘出張所

郵便番号 216-0022

所在地 川崎市宮前区平1丁目4番17号

電話番号 044-888-0119

【メール】 84mukai@city.kawasaki.jp

犬蔵出張所

郵便番号 216-0011

所在地 川崎市宮前区犬蔵1丁目10番2号

電話番号 044-976-0119

【メール】 84inuku@city.kawasaki.jp

野川出張所

郵便番号 216-0001

所在地 川崎市宮前区西野川2丁目7番8号

電話番号 044-755-0119

【メール】 84nogawa@city.kawasaki.jp

菅生出張所

郵便番号 216-0015

所在地 川崎市宮前区菅生3丁目43番23号

電話番号 044-977-0119

【メール】 84sugao@city.kawasaki.jp



宮前消防署